

平成29年度 総合課程 測量企画研修 実施計画

平成29年7月6日
測量部 測量企画科

1. 研修目的

地理空間情報行政を担う国土地理院の中堅職員に求められる業務遂行の能力向上、施策を理解して課題の整理・分析力の向上を目的とする。

以下の各点を重点事項とする。

- ① 測量・地理空間情報に関する現状、最新の技術動向を把握
- ② コミュニケーション及びリーダーシップのスキルを修得させ、円滑な地理空間情報行政の遂行能力を向上
- ③ 課題研究は、測量・地理空間情報分野の動向を踏まえたテーマを設定し、テーマに対する課題を洗い出して整理・分析する能力を向上

2. 対象者

国土地理院の職員で、係長又はこれと同等の職にある者

3. 研修期間

平成29年10月17日（火）～平成29年10月26日（木）（10日間）

4. 研修定員

	国土交通省	他省庁	地方公共 団体	独立行政 法人等	団体	計
29年度計画	15	—	—	—	—	15
27年度計画	20	—	—	—	—	20
実績	18	—	—	—	—	18
26年度計画	20	—	—	—	—	20
実績	17	—	—	—	—	17

5. カリキュラム

課（室）の筆頭係長に必要な能力の向上が図られるよう研修目的に沿って、次の点に配慮して編成する。また、教科目一覧は、別紙のとおりである。

（1）講義

- ① 講話、国土交通行政や測量行政の現状と展望等による基本的な知識の修得
- ② 国土地理院の国際協力や防災業務、i-Construction、地理空間情報技術の動向等の専門的な知識の修得
- ③ コミュニケーション能力及びリーダーシップのスキルの向上、KJ法等による問題解決力の向上

(2) 課題研究等

課題研究は、設定したテーマに対して、課題を洗い出し、その課題の整理・分析を班別による討議によって進め、その討議の過程を発表させる。また、各班で討議された課題の整理・分析等は、報告書にまとめさせる。これにより、業務を遂行する場合や業務計画を立案する場合に課題や問題点を意識して業務に取り組むことができる能力を向上させる。また、課題研究のテーマは、以下の表のとおりである。

表 課題研究テーマ

年度	テーマ
25	オープンデータ -新しいパラダイムの導入-
26	中長期的な時代の潮流と課題を踏まえた施策の提案 -2050年に向けて-
27	連携による新たな事業推進 - オープン GSI を目指して -
29	地理空間情報の利活用の推進 (仮)

(3) その他

入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス

6. テキスト代 (予定)

10,000円

平成29年度 総合課程 測量企画研修 教科目一覧表

区分	教科目	講 師		時間			備考
		H29	前回(H27)	H29	H27	増減	
講 義	1 講話	国土地理院 参事官 鹿野 正人	国土地理院 参事官 村上 広史	1.5	1.5	0.0	(H27:「特別講義」) ・国土地理院を取り巻く社会情勢 ・国土地理院に求められる役割と課題
	2 国土交通行政の現状と展望	国土交通大学校 副校長 須見 徹太郎	国土交通大学校 副校長 廣木 謙三	1.5	1.5	0.0	・国土交通行政の大胆な転換 ・国土交通行政の現状と展望
	3 測量行政の現状と展望	国土地理院 企画部 企画調整課長 河瀬 和重	国土地理院 企画部 企画調整課長 大木 章一	1.5	1.5	0.0	・測量行政の現状と展望について ・今後、我々が何を指すのか
	4 ワークライフバランスの充実に 向けて	国土交通大学校 教授 寺本 耕一		1.5	0	1.5	・仕事と生活の調和を図り、充実感を持ちながら働くために ・女性が輝く社会に向けて ・セクシュアルハラスメント
	5 政府の危機管理	内閣官房副長官補付 参事官補佐 渡部 金一郎	内閣官房副長官補付 参事官補佐 矢萩 智裕	1.5	1.5	0.0	(H27年度:「危機管理」) ・内閣官房の役割、危機管理態勢 ・初動対応、情報収集体制、警察、自衛隊、消防 ・東日本大震災における内閣官房の災害対応と今後の展望 ・北朝鮮のミサイルへの対応
	6 i-Construction	大臣官房技術調査課 課長補佐 橋本 亮		1.5	0	1.5	・i-Constructionとは、 ・国土交通省の取り組み ・測量・計測に関連した事例の紹介 ・今後の全体計画やコンソーシアムについて ・国土地理院への期待
	7 国土地理院の国際協力	国土地理院 企画部 国際課長 鶴生川 太郎	国土地理院 企画部 国際課長 中川 弘之	1.5	1.5	0.0	・国家測量地図作成機関とは ・日本の国土(領土)と国内外への提示 最近の状況 ・国土地理院の国際協力
	8 国土地理院の防災業務	国土地理院 防災企画調整官 山際 敦史	国土地理院 防災企画調整官 長谷川 裕之	1.5	1.5	0.0	・国土地理院の防災業務の枠組み(防災態勢、役割など) ・国土地理院の取り組みの紹介と問題点 ・防災業務の方向性
	9 インフラとしてのデータ整備と 解析技術による利活用の展開	東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 布施 孝志		1.5	0	1.5	・社会基盤分野におけるICT活用の動き ・データ増加と取り巻く環境の変化 ・データ統合・データとモデルの統合 ・空間情報技術
	10 問題解決力の基礎	株式会社エバーフィールド 取締役 永野 篤	同左	4	14	-10.0	(H27年度:創造的問題解決の基礎) ・想像技法の解説(ブレインストーミング、KJ法)
	11 コミュニケーション能力向上	人材育成コンサルタント 黒田 貞		7	0	7.0	・初対面者との交渉に必要なコミュニケーション能力 ・交渉においてイニシアチブをとるための技術
	12 リーダーシップと組織の活かし 方	(株)人事工学研究所 所長 大泊 剛	多摩大学 名誉教授 竹村 之宏	5.5	4.5	1.0	・組織から見たリーダーシップのあり方(への期待) ・組織内・ワーキンググループ内・担当部署内のリーダーシップとは? ・意識の改革 ・組織を活性化するために ・新しいことへのチャレンジ
	講話		国土交通大学校 測量部長 佐々木 久和	0	1	-1.0	・測量行政の現状と展望について ・今後、我々が何を指すのか
	国土交通行政と広報		大臣官房 広報課 広報戦略企画官 落合 直樹	0	1.5	-1.5	・行政広報の役割・種類、国土交通省の広報活動 ・取材、問い合わせ対応のポイント、心得 ・危機管理広報の重要性、災害情報、ネガティブ情報等
	新たな「国土のグランドデザイン」 について		国土政策局 総合計画課 企画専門官 仙崎 達治	0	1.5	-1.5	・「国土形成計画」の概要 ・「国土のグランドデザイン」の概要
	空間情報技術の動向		東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 准教授 布施 孝志	0	1.5	-1.5	・地域・人物の動態把握における地理空間情報の役割
	地理空間情報を活用した再生可 能エネルギー事業への取り組み		<日本測量調査技術協会> アジア航測株式会社 環境・エネルギーソリューション事業部 副事業部長 兼 再生可能エネルギープロジェクト課 課長 佐口 治	0	1.5	-1.5	・再生可能エネルギー事業における地理空間情報技術の役割 ・事例紹介 ・今後の展望
	オープンデータについて		国土交通大学校 測量部長 佐々木 久和	0	1.5	-1.5	・地理空間情報活用行政と関連の深い「オープンデータ」(新たな価値の創出を目指す公的情報の流通・活用の促進)の動向について
地方公共団体におけるGISの 現状		川口市企画財政部 情報政策課長 大山 水帆	0	1.5	-1.5	・地方自治体におけるICTを活用した地域作りの紹介 ・国土地理院、国土交通省に期待するもの	
小計			30	37.5	-7.5		
課 題 研 究 等	13 課題研究 説明	国土地理院 企画部 研究企画官 岡谷 隆基	国土地理院 企画部 研究企画官 永山 透	1.5	1.5	0.0	・課題研究は、測量・地理空間情報分野の動向を踏まえたテーマを設定し、テーマに対して課題を整理・分析する能力を向上
	14 課題研究 班別討議	測量部 教官	同左	15.5	21.5	-6.0	
	15 課題研究 全体討議	国土地理院 企画部 研究企画官 岡谷 隆基	国土地理院 企画部 研究企画官 永山 透	3	3	0.0	
	小計			20	26	-6.0	
そ の 他	16 入校式・修了式・その他	国土交通大学校 測量部、教務課	同左	2	2	0.0	
	小計			2	2	0.0	
合 計			52	65.5	-13.5	(研修期間を12日間から10日間(52時間)へ変更)	